

R7.8.25 議員定数のあり方検討に係る議員研修会の振り返り

テーマ：議会は市民の中にある～議会・議員不要論を超えて～
講師：林 晴信 先生（西脇市議会 議員）

まとめ（大事なこと）

- 市民の中から議員を何人出すかは市民の権利である！
議員の権利ではない！
☞ “身を切る改革”という考えで議員定数を削減する例があるが、それは
“市民の身（権利）を切っている”ことにほかならない。
- 議員定数の数なんて枝葉末節なこと
なぜ市民から定数削減の声が出るのか先ず考えよ！
- 議会基本条例に理想として掲げる議会像をまず描かないといけない
その議会像に必要な議員数を議論せよ！
☞ 理想を描かずに定数削減を続けていくと、結局は議員はゼロでいいと
いうことになる
- 何故、議会が必要なのか、議会が今まで市民に何ができたのか
即答できなければ議会は不要なものと言われて仕方なし
☞ いかに住民の福祉の増進に寄与できるかを考えなければならない

I 第1期（H20～21）

- ・ 議員定数の削減を求める陳情をきっかけに、議員定数調査特別委員会を設置（H20.6）し、定数を議論。
- ・ 当時、議会として市民の意見を全く聴くことなく、議員だけの意見で決めてしまった。
- ・ 市民不在の議論になってしまい、これが市民の反発を招いた。

※こうした経過を辿り、西脇市議会では、第1期の議員定数特別委員会の終了と同時に議会改革特別委員会を立ち上げた（ここから西脇市議会の議会改革が始まった）。

〈参考〉H21.2 議員定数を16に引き下げる直接請求に対する主な賛否意見

賛成	反対
・ 行財政改革として職員の定数を削減しているのだから議員定数も削減すべきではないか※¹ ・ それぞれの議員が少数精鋭でやっていくという気構えを持って議会活動、議会運営を行っていかなければならない※² ・ 議会改革は議員定数削減が一番わかりやすい※³	・ 議員の数が多くの方が、少数の市民の意見が市政に届く ・ 議員定数を削減すれば監視機能が低下し、結局は市民が不利益を被る

－講師による説明－

- ※1 この当時、行財政改革が盛んに言われていたが、議員定数の削減と行財政改革は別の議論である。
- ※2 議員定数を削減して「少数」になったからといって「精鋭」になるのかと言ったら、選挙で選ぶのだからそんなことは絶対ない。
- ※3 議員定数削減と議会改革は何の関係もない。

Ⅱ 第2期（H30～R2）

1 過去の議員定数削減と立候補等の状況

- ・西脇市議会では、H21.10の市議選で議員定数2減、H25.10の市議選で議員定数2減を実施したが、回を追うごとに立候補者数が減少（H25.10の選挙では無投票になった）。
- ・H29.10の市議選では、定数16に対して19人が立候補したが、4名が法定得票数に達せず、欠員1となった。

2 議員定数調査特別委員会の設置と検討の視点

- ・これまでの市議選の状況等を踏まえH30に議員定数調査特別委員会を設置。
- ・市民不在の議論から市民の反発を招いたという前回の大きな反省に立ち、次の視点で検討を行った。

議員定数調査特別委員会の検討の視点（研修資料から抜粋）

「議会基本条例」を実行するため、必要となる議員定数を調査検討

3 定数調査の基本的な考え方と進め方

- (1) 議会基本条例に基づく「議員のあるべき姿」を基本とする。
 - (2) 西脇市議会と西脇市議会議員に求められる活動原則を基本とする。
 - (3) 議員定数問題についての基本的な考え方を示す。
 - ① 議会の能率的な運営と意思決定をするためには、何人が最適かの調査を行う。（討議性，専門性）
 - ② 多様な住民の意思を反映するためには、何人が最適かの調査を行う。（市民性）
 - ③ 議会の機能（議事機関、立法機関、監視機関）を発揮するためには、何人が最適かの調査を行う。（議会運営性）
 - ④ 市民の意見を反映するために、広く市民の声を聴く。
- ※ R2.5 議員定数調査報告書（西脇市議会議員定数調査特別委員会）から引用。

4 具体的な調査事項と主な調査・検討の結果

(1) 具体的な調査事項（R2.5 議員定数調査報告書から引用）

- ① 議員定数の基準として常任委員会方式、人口比例方式、類似都市との比較方式を調査する。
- ② 討議性、専門性、市民性、議会運営性を高めるために必要な議員数の調査を行う。
- ③ 地区単位で議員定数に関する意見交換会を開催する。
- ④ 議員定数を考えるシンポジウムを開催する。

(2) 主な調査・検討の結果

主な調査・検討の項目	調査・検討の主な結果
類似団体の議員定数と比較してどうか	○調査を行った類似団体の議員定数との比較から、次のように考察される。 ・面積と議員定数の相関性は低い。 ・人口と議員定数の相関は高い。 ・ただし、中山間地域を多く擁する等、行政運営において地域代表が必要な場合は人口の割に定数が多くなる傾向がある。
討議性を高めるために必要な議員数は何人か	○議会は議論する場であり、議論していくには高い専門性・市民性を持つ必要がある。 ○より良い結論を導くためには一定の人数が必要。 ○討議性を高めるためには、委員会等の人数は最低7～8人は必要。
専門性を高めるために必要な議員数は何人か	○議会が市の意思を決定し、行政の監視機関としての責任を果たすためには、各種議案について調査能力を高めることが重要。
市民性を高めるために必要な議員数は何人か	○議会報告会は、議会として市民性を高めるためにはなくてはならないものであり、それを長期的・安定的に実施していくためには、より多くの議員が必要。
議会運営性を高めるために必要な議員数は何人か	○議会運営とは、議会基本条例の実践であり、そのためには、現状の人数では困難。
常任委員会の議論を深めていくために必要な議員数は何人か	○議会基本条例に規定する「市民の負託に的確に応え」ていくためには、高い討議性・専門性・市民性が必要。 ○少人数での議論では市民の負託に偏りが生じるため、現在考えられる人数的結果としては、「議論をするには7～8人（より良いのは8人）」。

※ R2.5 議員定数調査報告書及び研修資料から引用・要約。

5 「議員定数に関する意見交換会」と「議員定数を考えるシンポジウム」の実施

(1) 実施の理由

- ・意見交換会を行うことについて、市民からの“「減らせ、減らせ」の大合唱”への懸念などから、当初は消極的だった。
- ・しかし、市民の代表である議会としては、市民の意見を聞きながら定数を決めていくことが適当ではないかという考えに至った。
- ・具体的には、議会基本条例の本旨に則り住民の意見を聴く場を設定すること、また、集大成として有識者を招いてシンポジウムを行うこととした。

(2) 実施内容と結果

① 議員定数に関する意見交換会（市民の意見を聴く機会を設ける）

〈趣 旨〉議員定数調査に当たり市民の意見を聴き、その声を議員定数調査に生かす。

〈テーマ〉「議員って少ない方がいい？多い方がいい？」

〈参加者〉332 人／8 回

〈進め方〉① 特別委員会の調査経過の報告

② 「議会や議員に求めること」、「西脇市に必要な議員定数は」についてグループごとに市民と議員が意見交換

〈結 果〉※「西脇市に必要な議員定数は」について

主な意見	意見の多寡
○ 定数は現状維持がよい ・市民の意見をできるだけ反映させるため、今より減らすと市民の声が伝わらない。 ・討議性を高めるための委員会の人数からすれば 16 人が妥当。	一番多い
○ 定数は削減すべき ・14 人で濃い仕事をしたらよいのではないかと。少ない方がよい。 ・2 年前の市議会議員選挙を考えると 15 人ぐらいが妥当ではないかと。	一番少ない
○ 定数を増やすべき ・成果が伴えば定数が増えても何等问题がない。 ・定数を増やして仕事をしっかりしてほしい。 ・現状、議員の仕事が多いようなので、増やすべき。	二番目に多い

※ R2.5 議員定数調査報告書及び研修資料から引用・要約。

〈考 察〉

- ・「現状維持」、「増やすべき」が多くなったのは、“西脇市議会は頑張っているんだ”ということを説明したからではないかと受け止めている。

② 議員定数を考えるシンポジウム

〈内 容〉① 議会、議員のあり方についての基調講演

「議会改革—削減から充実へ—」／北川正恭 氏※

※ 早稲田大学名誉教授

② パネルディスカッション「議員定数について考えましょう」

〈参 加 者〉295 人（市内 231 人、市外 64 人）

〈主な意見〉

- ・議会としてどのように提案し、成果を得たのかの話をしてほしい。
- ・住民が成果を実感できるように努力してほしい。
- ・議員の果たす役割は多くあると思う。市民が納得する結論を出すようにしてほしい。
- ・議会が頑張っている姿をアピールすることが、市民に意識を持ってもらえることにつながる。

※ R2.5 議員定数調査報告書及び研修資料から引用・要約。

6 「議員定数に関する意見交換会」及び「議員定数を考えるシンポジウム」で市民から寄せられた意見を踏まえた検討の経過と結果

(1) 特別委員会において委員から示された主な意見（検討経過）

- ・より多くの住民と話し合うためには現行の定数を維持することが必要。
- ・今までの経緯を見ると定数を下げると立候補者が少なくなっている。市民の声に応えるためには今まで以上の活動をしていく必要があること、また、若い人の立候補を考慮すると、これ以上定数を減らすべきではない。ただし、議員の質を高めることが絶対条件。
- ・市民に認めてもらう議会になることが重要。
- ・意見交換会では、市民から、議員は市民に寄り添ってほしいとの声があり、住民の意見の約7割が現状維持でよいとのことであった。

(2) 特別委員会としての調査結果

- ・以上の検討を経て、現行の議員定数が適正であるとの結論に至った。